

## 太子高校は「みる」！

本年度は、「みる」をキーワードに、教育活動を展開します。校長通信では、太子高校が「今、みている」姿をお伝えできればと考えています。

本年度のキーワードは「みる」です。さて、どういう漢字が思い浮かびますか？  
見 看 観 視 ……いろいろとありますね。この「みる」という言葉には、大きく分けて三つの意味があると、広辞苑には出ています。

- 1 目によって認識する。
- 2 物事を調べ行う。
- 3 判断する。

そして、大きなくくりとして「自分の判断で処理する」という意味があります。

総合学科である本校が目指すものが、この言葉に集約されています。自分の目で見て確かめ、興味を持ったならそれについてとことん調べる。そして、何がどうなっているのかを判断する。あるいは、「これはどうなっているのかな」と不思議に感じたことがあったら、「目」と「先行研究」をフル活用して「自説」にたどりつく……といったように。

総合学科という学科は、自分でいろいろなことをプロデュースできるところです。興味関心のあることからについて、どこまでも追いかけることができます。選択科目が豊富にそろっているのも、生徒の自主的な学びを大切に考えているからです。

本校は、体験から学ぶことをとても大切にしています。生徒の皆さんは、目の前にあるチャンスを逃さず、できるだけ多くのことを体験から学んでください。また、地域で活動することも大切にしています。地域を支える人材になって欲しいからです。地域というのは「太子町」だけを指すものではありません。これから生徒の皆さんが生きていく場所の全てを指しています。

新しい令和の時代に羽ばたく準備をしましょう！！

## ONE SHOT



新入生の「産業社会と人間」の授業風景です。200名が講義棟で一斉に授業を受けています。

この時間は、「話の聴き方」を学びました。姿勢や視線の違いで、相手がどんな感じをうけるのか……というようなことを、教師のデモンストレーションを見ながら、お互いにやってみました。その感想を書いているところです。

新入生の保護者の皆様、お子様たちは今、こんなふうに授業を受けています。

### 学校のカ・イ・ダ・ン

4月の体育の授業は「集団行動」です。大きな声で号令を掛け、隊列を整えてしっかり歩く。これをひたすら練習します。このことで、学校生活の柱ができます。つまり、他者の動きを察知する感覚を身につける。全体の息を合わせる大切さと心地よさを知る。ということですね。今も、大きな声と足音が体育館から聞こえています。太子高校の「春の音」です。